

2018年10月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 10月えんだより

10月の聖句 「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」 コリントの信徒への手紙Ⅰ 3章6節

秋さわやかな空をようやく仰げるようになりました。地震、長雨、台風とこの3ヶ月は自然災害に幾度となく見舞われました。傷つき、痛みを覚えながら暮らす方々がいることを覚えます。一日も早く復興し、心の傷も癒されることを祈ります。園も台風の影響により皆さんにご迷惑とご協力をいただきましたことにお詫びと感謝を申し上げます。

この天候の中でも神様に守られ、園の施設は、多少の補修が必要ですが、大きな被害に遭うことなく今を迎えられています。YMCA 保育園の門の直ぐ傍にあるぶどうの木、細くて、弱々しい木ですが、変わることなく育っています。近年は肥料や間引き等のためか、ぶどうが育ちにくいのですが、毎年実がなるという自然の力には驚くばかりです。

山を開いてできた学園都市は、1985年にユニバーシアード神戸大会が開かれ、世界から来る方々の選手村ができました。当時の写真を見ますと、園の周辺に住居は少なく、駅周辺や造成地が目立ち、まだ街という風景ではありません。神戸市の副都心、西神ニュータウンの一つとしてできる町に、色々な生き物が集い、子ども達が生活の中で自然と共に生き、学ぶことができる環境をつくるために沢山の木のなる木々が植えられ、園庭や裏庭が設計されて、1988年にYMCA 保育園が開設されました。最初の礼拝は、園舎の外で行われ、読まれた聖句が今月の聖句の箇所でした。

「街ができて沢山の人が集い、共に生きる場所ができます。目にみえる場所ができて、そこに人間と人間がふれあい、交わりによってこそ人間が生きていく礎ができていく・・・。園を始めるにあたり、幼き子ども達の未来に責任ある担い手として、子ども達や地域に献身する働きを、神様を仰ぎ見献身する姿勢をもつことを願う」と記されています。今年は30周年を迎えるYMCA 保育園の節目の年を迎えました。又2020年には神戸の地でYMCAが認可保育園を始めて50年目の節目を迎えます。我々の働きは小さく、弱きものであります。ゆえに、時代が変わり、人が変わってもその礎に神様の変わらぬ働きと願いを感じ、幼き者に身を捧げ、神様が成し得る「成長」のわざを信じて、歩みを強めていきたいと思えます。子ども達、保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝を申し上げます。

10月	乳児 (0,1,2 歳児)	幼児 (3,4,5 歳児)
月主題	やってみよう	ふれあう
月の願い	<ul style="list-style-type: none"> *季節の移り変わりを感じ、身近な自然とであう。 *体を動かす遊びを喜ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> *神様が与えてくださっている力を出し合い共に取り組む。 *疑問や気付いたことを調べたり、考えたりする。 *友だちと遊ぶ中で、いろいろな方法に挑戦し、失敗を重ねながら試す。
讃美歌	どんどこ どんどこ こども改136	わかちあおう 川上牧師作詞作曲